経済

住宅密集地で地盤改良

グランテックが施工機開発

土木工事、機械製造販売のグランテック（高岡市）は、狭小地に特化した独自の地盤改良技術「スーパー・ナロー工法」で作業できる専用施工機を開発した。軽自動車1台分の幅で自走し、都市部の住宅密集地などでスムーズな地盤改良が可能となる。材料の運搬から施工まで作業者1人で済み、土木現場の人手不足解消やコスト削減を図る。

施工機は車両幅1・3㍍で重量が2㌧。3㌧トラックに施工機を含めた地盤改良用の材料を全て積載して運ぶことができる。

大型の重機が進入できない狭い道路を走行し、一般住宅の建設に必要な鋼管50本を地盤に埋め込む作業が1日で完了する。騒音や振動を抑え、モニターで施工状況を確認できる管理装置も備えた。

同社によると、北陸での住宅増築や古民家の再生事業でも需要を見込み、全国で施工機を使用するフランチャイズ加盟店を募って

グランテックが開発したスーパー・ナローエ法の専用施工機＝射水市内（同社提供）